

# 令和元年度 第1回 まつやま人口減少対策推進会議

## 運営幹事会 議事概要

### (1) 開催日時・会場

開催日時：令和元年5月27日（月） 10:00～12:00

場 所：松山市役所 別館6階 第5委員会室

### (2) 出席者

「令和元年度 第1回 まつやま人口減少対策推進会議 運営幹事会 出席者名簿」に記載のとおり

### (3) 議事

1. 平成30年度決算の認定について
2. 市長への提言書について
3. 令和元年度の専門部会の活動状況について
4. その他

### (4) 議事概要

#### 1. 平成30年度決算の認定について

原案通り認定

#### 2. 市長への提言書について

各部長から内容説明後、意見交換（主なものは下記のとおり）。

#### 【希望出生率実現プロジェクト】

- ・出生数を今より増やすということを念頭に置くなら、一番ボリュームがある30代後半から40代前半の世代をどうするかを考えることも重要である。若い世代だけに特化すると母数が少ないため希望出生率を実現するということに対する効果が限定的になってしまうかもしれない。当事者を絞ったうえで、アプローチの方法を示すべきではないか。提言書に記載されている「独身男性のロールモデル」を示すなども一つの方法である。
- ・現在は様々な価値観を持っている人がいるので、多様性を認めつつ、子供が欲しいのであれば年齢ごとの妊孕率はこう、出産に必要な費用はこう、と事実を伝えた上で、本人が自分で選択してキャリアプランニングできるようにすることが重要。

- ・大学生のなかには、男性の家事の役割分担について、既に否定的な考えを持っている女性も存在している。
- ・当事者をとりまく環境を主としてとらえて、そのためにどうすべきかという筋立ても考えられるのではないか。

#### 【企業の生産性アッププロジェクト】

- ・様々なICTを活用した個々の企業の成功事例を紹介するようなボトムアップ型のものも重要ではあるが、労働力人口が減る中で、市内総生産1.6兆円の維持のためには、行政が生産性向上のためにどのようなスタンスで対策を進めていくか、旗振り役として市内企業に方針を示すことが一番重要である。
- ・ICTについては、利活用支援のみでなく、それを利用する人のマインドも変えていくことも必要ではないか。
- ・旗振り役の好事例としては福岡市を聞いたことがあるが、行政がトップダウン型で方針を示すことで企業も安心してその方向に向かって投資や取組みを行うことができる。
- ・先日開催された働き方改革シンポジウムで西条市の取組み紹介があり、ICTを活用することで行政でもペーパーレス化が出来るという内容であり、新鮮な驚きであった。行政が何か目新しいことをするという事は地元企業にとってもインパクトが強いので、方針やモデルを示しながら進めていくのも1つの手である。

#### 【まつやま暮らし実現プロジェクト】

- ・40代を引っ張ってくる施策と20代を引っ張ってくる施策では大きく異なるので、同じ企業の情報発信を行うにしても、その内容までしっかり考える必要がある。  
実感として、最近は仕事のやりがいや地域貢献度で企業を選ぶ学生も増えてきたと思う。ただし、そういう内容をPRしても、新採用の学生がすぐにそのような取組みに携われる訳ではなく、数年後かもしれないし、ずっと携われないかもしれない。学生はすぐにその業務をできると考えているケースが多いので、そこまで考慮して情報を出さないと、思っていたのとは違くと離職してしまう。
- ・転出防止の観点からみると、「高校卒業までに故郷の魅力的な働き場所や暮らしの場の存在を伝える」という項目が最も重要だと思う。
- ・ジョブチャレンジは良い取り組みだが、気を付けておかないと5日間で松山の企業を好きになるのではなく、逆にこんな所では仕事をしたくないと思ってしまう可能性もある。  
単に同じ校区内ということでは無く、生徒がどういう分野に興味を持っているか、学校はということを学んでほしいか、企業も何を伝えたいか等、そういうベースになるプログラムがあった方がいいかもしれない。

### 3. 令和元年度の専門部会の活動状況について

今年度の取組み予定について説明。

#### 4. その他について

##### 事務局から説明

- ・第2期総合戦略の策定スケジュールについては配付資料のとおり。各部会長に、第1回まつやま人口減少対策推進会議総会に出席してもらい、これまでの部会における活動内容と提言書について5分程度説明してほしいと考えている。よろしくお願いしたい。